

成果報告書

2024年4月9日

公益財団法人 乃村文化財団 理事長 渡辺 勝 様

貴財団の助成金事業についてご報告します。

助成区分	研究助成		
研究および教育普及活動の期間	2023年 4月 ~ 2024年 3月		
フリガナ	ダイドウダイガクコウガクブケンチュウカッカ ムトウタカシケンキュウシツ		
大学(研究室等)名 学会・博物館名	大同大学工学部建築学科 武藤隆研究室		
フリガナ	ワタナベシナイチ	職名	
代表者名	渡辺 慎一	学長	
フリガナ	ムトウタカシ	職名	
担当者名	武藤 隆	教授	
所在地	〒457-8530 愛知県名古屋市南区滝春町10-3		
対象となる研究および教育普及活動の概要	【テーマ】	ノコギリ屋根工場跡の再編の試み	
	【目的】	本研究では、その場所や建築のコンテキストを読み取ることが優先した空間構成を行うことで、歴史や場所性、建築物の存在意義に寄り添い、目的や機能だけが先行するこれまでの空間づくりのオルタナティブなものとして提案し、検証していく。従来の目的や機能のみが先行した空間づくりではなく、空間構成を先行させた新たな空間づくりのあり方やその効果を考察することを目的とする。	
	【実施体制】	<input type="checkbox"/> 代表者 大同大学工学部建築学科 武藤隆研究室 教授 武藤 隆 <input type="checkbox"/> 共同研究者 大同大学大学院工学研究科建築学専攻武藤隆研究室 修士課程2年 木全彩弥花・近藤千晴、修士課程1年 鈴木遼馬 ■会場関係協力者 エキノコ 玉ノ井 (会場賃借)	
	【実施方法】	本研究は、その目的である空間構成を先行させた新たな空間づくりのあり方やその効果を考察する場として、愛知県一宮市に現存する、工場としての機能を失ったノコギリ屋根工場を検証の対象に選び、そこに実際の空間を仮想的につくることで考察していく。① ノコギリ屋根工場の調査・研究、②-1 ノコギリ屋根工場での空間構成(仮)開催、②-2 空間構成関連イベント開催 ④ 社会実験を踏まえた提案の作成	
	【成果と社会的効果】	日本中には同様な歴史的・産業的建築物が多く存在するが、経済性や機能性を重視するがゆえに、惜しまれて解体されていくものも多い。本研究では、そうした他の歴史的・産業的建築物の有効利用のための提案の一助になることも予想される成果の一つであると思われる。また、ノコギリ屋根空間に限らず、あらゆる仮設空間の可能性や計画の方法についても、十分な成果となるだろう。	
共同研究者等の有無	あり(人数 3名) 大同大学大学院工学研究科建築学専攻 修士課程2年 木全彩弥花・近藤千晴 修士課程1年 鈴木遼馬		
助成金額	50万円	主な用途	備品費・設備費(空間構成設営費) その他雑費(模型材料費)

研究室名 学会・博物館名	大同大学工学部建築学科 武藤隆研究室
テーマ	ノコギリ屋根工場跡の再編の試み
<p>【目的】</p> <p>今日、歴史的・産業的建築物を用途変更（コンバージョン）するなどの何らかの改修を施し、新たに活用する試みが活発に行われている。しかし、その試みの過程で元々の場所性や空間性を読み込もうとせず、あるいは読み込むことができず、そのコンテキストが十分に活かされていない空間づくりが多くみられる。それらの問題の多くは、主に空間づくりの手がかりを目的や機能のみを優先して計画されているからなのではないかと考えられる。目的や機能が先行するこれまでの空間づくりは、そんな歴史的・産業的遺産の建築や空間をうまく活用していると言えるのであろうか。</p> <p>そこで今回の研究では、その場所や建築のコンテキストを読み取ることを優先した空間構成を行うことで、歴史や場所性、建築物の存在意義に寄り添い、目的や機能だけが先行するこれまでの空間づくりのオルタナティブなものとして提案し、検証していく。従来の目的や機能のみが先行した空間づくりではなく、空間構成を先行させた新たな空間づくりのあり方やその効果を考察することを目的とする。</p> <p>本研究は愛知県一宮市西部に現存するノコギリ屋根工場とよばれる機織工場を空間検証の対象とし提案を試みる。一宮市は尾州の毛織物産業の地として発展した地域であり、産業は衰退傾向ではあるものの、毛織物産業の記憶を彷彿とさせるノコギリ屋根の機織工場はまちのいたるところで確認することができる。産業的、歴史的コンテキストが多く交差し、その影響を大きく受けるノコギリ屋根工場からは、それらは稼働の有無はあるにせよ、多くの要素や手がかりを抽出でき、空間構成につなげることができるだろう。</p> <p>日本中には同様な歴史的・産業的建築物が多く存在するが、経済性や機能性を重視するがゆえに惜しまれて解体されていくものも多い。本研究ではそうした他の歴史的・産業的建築物の有効利用のための提案の一助になることももう一つの目的としたい。</p>	
<p>【実施体制】</p> <p>□代表者 大同大学工学部建築学科 武藤隆研究室 教授 武藤 隆</p> <p>□共同研究者 大同大学大学院工学研究科建築学専攻 修士課程1年 武藤隆研究室 木全彩弥花・近藤千晴</p> <p>□空間構成立案・企画案立案 大同大学大学院工学研究科建築学専攻 修士課程1年 武藤隆研究室 木全彩弥花</p> <p>□空間構成・企画実施 大同大学工学部建築学科 武藤隆研究室 当該年度所属学部生 大同大学大学院工学研究科建築学専攻 武藤隆研究室 当該年度所属大学院生</p> <p>■会場関係協力者 エキノコ 玉ノ井（会場賃借）</p>	
<p>【実施方法】</p> <p>本研究は、その目的である空間構成を先行させた新たな空間づくりのあり方やその効果を考察する場として、愛知県一宮市に現存する、工場としての機能を失ったノコギリ屋根工場を検証の対象に選び、そこに実際の空間を仮設的につくることで考察していく。</p> <p>① ノコギリ屋根工場の調査・研究 選定した候補地及びエキノコ玉ノ井を詳細に調査し、図面化・模型化などしたうえでその空間的特性を把握する。</p> <p>②-1 ノコギリ屋根工場での空間構成の開催 前述の調査・研究によって把握した空間に、どのような空間構成が適切なのかの検証を行い、複数案のそれぞれ異なる空間構成を計画する。実際に、工場跡内に簡易的かつ仮設的な空間的要素（壁・床・柱）で空間を構成し、そこで何らかのアクティビティを複数回行うことにより、その空間構成と空間の文脈との親和性に関する検証を行う。</p> <p>検証の機会は3回設け、1日限定の展示などや企画をその都度行う。空間構成が人にもたらす作用や効果を検証の結果として得られるようにするために、企画の際には、チラシ・ポスターの作成やS N Sツールを活用した広報活動も行い集客することで、アンケートなどによってその効果を確認できるようにする。</p> <p>②-2 空間構成関連イベント開催 展示の開催に伴い、それぞれの会期で計画されたノコギリ屋根空間全体が持つ空間特性を活かしたイベント（ワークショップ等）も行い、その効果を確認する。</p> <p>本研究で求める空間特性は、ノコギリ屋根工場跡の空間そのものが持つ空間的コンテキストと、仮設的な空間要素の挿入によって生まれたアフォーダンスや、イベントとの関連性、空間全体がもたらす人やモノ、コトへの作用・効果などを対象とし、3回分を比較・分析する。</p> <p>③ 社会実験を踏まえた提案の作成 また、その社会実験を踏まえた提案の作成を行なう。</p>	

研究室名 学会・博物館名	大同大学工学部建築学科 武藤隆研究室
テーマ	ノコギリ屋根工場跡の再編の試み

【研究・教育普及活動の成果】

本研究では、愛知県一宮市に現存した（※現在は取り壊し済み）エキノコ玉ノ井という工場としての機能を終えたノコギリ屋根工場に対して、有効的空間活用を提案し、実際に空間構成及び社会実験を行なった。本社会実験は、ノコギリ屋根工場の新たな空間的可能性を考察及びその提案をする場としての役割を果たしたと同時に、ノコギリ屋根工場を実際に活用した関連イベントを行うことによって市内及び市外から訪れた人々に対してノコギリ屋根工場という地域特有の歴史的・産業的建築物に関する新たな認識及び気づきを与えるきっかけとなった。また、社会実験を用いた検証の結果を踏まえ、エキノコ玉ノ井に対する空間提案を複数行なった。また、その社会実験を踏まえた提案の作成を行なうことで、机上ではあるが、そこから派生させる今回の空間づくりのあり方の検証や提案は、ノコギリ屋根工場をはじめとした歴史的・産業的建築遺産における保存・継承に関してや今後の新たな空間創造の一助となるであろう。



研究室名 学会・博物館名	大同大学工学部建築学科 武藤隆研究室
テーマ	ノギリ屋根工場跡の再編の試み

【今後の成果の活用と活動の展開について】

今後の課題として、エキノ玉ノ井のように経済性や機能性を重視するがゆえに、惜まれて解体されてしまうようなノギリ屋根工場及び、歴史的・産業的建築物が多く存在する。そうした今後、保存・継承していくべき建築物に対しての新たな有効活用及び空間づくりのあり方に関して、考察し続けていく必要があると考えられる。本社会実験では、3回にわたりノギリ屋根工場及びノギリ屋根空間に関する新たな空間づくりを実際に仮設的な空間構成を行うことで考察し、その社会実験を踏まえた提案の作成を行なうことで、机上ではあるが、そこから派生させる今回の空間づくりのあり方の検証や提案を行った。これらの考察は、試行錯誤の回数や空間構成の精度を向上させることで、さらなる空間に関する可能性を拡げていこう。

また、これらの成果展を、2024年5月3日～6日の会期で、愛知県一宮市栄4-5-11 Re-TAIL内「書庫と〇〇」にて開催予定である。

